

後期学校評価の結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本校では、生徒がよりよい学校生活を送れるよう、毎年2回「学校評価」を行っています。生徒・教職員・保護者の皆様のアンケート結果をふまえ、今後の改善に取り組んでまいります。今回は、12月に実施した後期学校評価の結果をご報告いたします。

生徒一人一人が充実した学校生活を送れるよう、教職員一同努めてまいります。今後ともご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

() の数字は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合 (%) (令和六年度後期→令和七年度前期→令和七年度後期) の推移を表している。

1. 学習について

(1) わかりやすい授業

生徒「授業がわかりやすい」	(91→88→89)
---------------	------------

(2) 活用力の向上

生徒「学んだことを自分の生き方や考え方、社会生活の中で活かそうとしている」	(84→81→84)
---------------------------------------	------------

(3) 読書活動の充実

生徒「朝読書に真剣に取り組んでいる」	(85→85→80)
保護者「お子さまと、読書に関わることについて話すことがある」	(26→31→38)

(4) 学習規律の徹底

生徒「チャイムスタートを意識して行動している」	(93→88→88)
生徒「授業の始めと終わりの挨拶をしっかりとっている」	(90→89→89)
生徒「授業では正しい姿勢で授業を受けている」	(76→71→68)

(5) 家庭学習の充実

保護者「お子さまには、家庭学習の習慣がついている」	(63→66→64)
---------------------------	------------

<今後の改善策>

わかりやすい授業・キャリア教育の充実

「授業が分かりやすい」という項目への肯定的な回答は、今年度前期とほぼ同じ結果でした。今後も ICT 機器の活用を進め、さまざまな視点から学べる工夫や、自分の意見を発表しやすい効果的なグループ学習を取り入れながら、どの生徒にとっても分かりやすい授業づくりに努めてまいります。

読書活動については、月1回程度の図書館での朝読書や、教職員によるブックトークなどの取組を続けてきましたが、形式化している面もあり、評価が下がる結果となりました。今後はさらに工夫を重ね、ご家庭でも本のお話をしたくなるような、魅力ある読書活動を目指します。

また、授業規律の徹底に関する項目は、全体的に下降傾向にあります。授業に集中できる環境をつくるためにも、なぜ授業規律が大切なのかを生徒に丁寧に伝え、理解を深められるよう取り組んでまいります。

2. 生活について

(1)規則正しい生活

生徒「起床、就寝時間を決めて生活している」	(65→73→68)
保護者「お子さまは、起床時間や就寝時間など、規則正しい生活を送っている」	(67→70→64)
生徒「SNSの時間を使用時間を決めて守っている」	(47→42→43)
保護者「お子さまは、SNSの時間を決めて守っている」	(38→50→43)

(2)あいさつ

生徒「気持ちの伝わるあいさつを自分からしている」	(88→89→88)
保護者「鶴中生は、学校や地域で自分から気持ちの伝わるあいさつをしている」	(84→85→83)

(3)道徳教育の充実

生徒「友達に対して、思いやりの心で行動している」	(95→95→96)
保護者「お子さまは、友達に対して、思いやりの心を持っている」	(96→96→99)

(4)生徒指導・教育相談の充実

生徒「学校ではいじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごすことができる」	(96→97→97)
保護者「お子さまは、いじめられたり無視されたりすることなく、安心して過ごしている」	(91→94→88)
生徒「先生は、自分の良いところや頑張ったことを褒めてくれたり認めてくれたりする」	(94→90→94)
保護者「お子さまは、学校で良いところや頑張ったことを褒められたり、認められている」	(93→87→89)

<今後の改善策>

「規則正しい生活が送れている」と回答した生徒が減少しています。学校でも、規則正しい生活の大切さやメリットについて改めて伝えていきますので、ご家庭でもお声かけいただければ幸いです。

「あいさつ」については、生徒・保護者ともに評価がやや下降しています。あいさつは社会生活の基本ですので、その大切さを伝えながら、気持ちのよいあいさつができるよう今後も取り組んでまいります。

「自分の良いところを褒めてもらったり、認められたりしている」という項目は、生徒・保護者ともに前期より向上しました。教職員が生徒を認める姿勢を重視してきた成果が少しずつ表れてきていると感じています。今後は、生徒どうしても互いを認め合える関係づくりを進めてまいります。

「SNSの使い方」については、今年度も大きな課題として取り組んでいます。注意喚起を続けているものの、改善が十分に進んでいない状況です。SNSによる睡眠時間・学習時間の減少や、トラブルの危険性も深刻な問題となっています。学校としても危機感をもって対応してまいりますので、保護者の皆様には、学校の注意喚起や外部機関との連携へのご理解とご協力をお願いいたします。

3. その他の項目について

(1) 特別活動の充実

生徒「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加（協力）している」	(83→74→70)
教職員「生徒は、主体的に学校行事に取り組んでいる」	(95→84→95)

(2) 対話力の育成

生徒「相手の話や発言に耳をかたむけ、相づちをうったり、うなずいたりしながら聴くことができる」	(...→93→94)
教職員「生徒は相手の話や発言に耳を傾け、相槌をうったり、うなずいたりしながら聴くことができている」	(...→79→80)

<今後の改善策>

生徒会活動の充実

「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加している」という項目は、大きく下降しました。運動会や文化祭などでは、生徒が真剣に取り組んでいる様子が見られましたが、その努力が自分自身の実感として結びついていないようです。

今後は、どんな小さなことでも学校に貢献していると実感できるよう声掛けを行い、「自分は誰かの役に立っている」と感じられる活動を大切にしていきます。

対話力の育成

今年度は「対話力の育成」を学校の大きなテーマとして取り組んでいます。「相手の話や発言に耳をかたむけ、相づちをうったり、うなずいたりしながら聴くことができる」という項目は、生徒・教職員ともにわずかではありますが向上しました。

今後も、グループでの学習や自分の意見を発表する機会を増やし、対話力をさらに高められるよう努めてまいります。

4. 学校関係者評価委員会・学校運営協議会より

PTA 代表および地域代表の方々にご出席いただき、2月に学校関係者評価委員会ならびに学校運営協議会を開催しました。後期学校評価の結果をもとに、分析や今後の改善策について貴重なご意見をいただきました。

【「SNSの使用時間を決めている」項目に関連するご意見】

全国では暴力動画が SNS 上で拡散される事例が報道されており、本校でもこうした問題をふまえた指導を行っているかというご質問がありました。本人に無断で写真を SNS に掲載したことによるトラブルが発生した際には、学年集会で SNS マナーについて考える機会を設けました。今後もこのような機会を継続的に設け、適切な SNS 利用について指導してまいります。

【「鶴中生は気持ちの伝わる挨拶をしている」項目に関連するご意見】

学校の外に出ると挨拶ができる中学生の割合が低いという現状についてご指摘をいただきました。本校としては、挨拶ができることは鶴中生の素晴らしい特徴の一つであり、その点に自信をもってほしいと考えています。学校外でも、また高校生に進学してからも、気持ちのよい挨拶ができる姿を目指して、引き続き取り組んでまいります。

※今回も地域や保護者の皆様と力を合わせて子どもたちを育てていくことの大切さを、改めて実感いたしました。いただいた貴重なご質問やご意見は、今後の学校教育の改善にしっかりと生かしてまいります。誠にありがとうございました。